令和元年度　特色ある学校づくり推進事業報告書

『交流活動を通して学校や地域においてたくましく生きる児童の育成』

あま市立甚目寺西小学校

１　目的

校訓「明るく　やりぬく　たくましい子」のもと、様々な人との温かいふれあいを大切にした学習の場を積み重ねていくことにより、互いを思いやることの大切さを学ばせるとともに、規範意識の高揚も図っていきたいと考えています。

２　内容

（１）多様な交流（児童・地域・国際）の場を通して温かい人間関係づくり

ア　ペア学年活動（異学年交流活動）

本校でのペア学年活動は５年目を迎えました。今年度は１年生と６年生、２年生と５年生、３年生と４年生が「ペア学年」となり、清掃活動や遊び、読み聞かせなど、学校生活の様々な場面でかかわる中で、人間関係を築いたり、上級生としての自覚を促したりする活動に力を注ぎました。

【ペア学習】

また、今年度は、新たに「ペア学習」を設定し、高学年が低学年に算数を教える場を設定してかかわりをもたせることで、子どもたちの相互理解を深めました。

イ　にしっこクリーンキャンペーン

毎年６月には、保護者や地域の方々とともに、学校周辺の道路の清掃に取り組んでいます。保護者の方々だけでなく、地元の老人会の皆さんにも参加していただき、児童の安全を見守りながら清掃活動を助けていただきました。

ウ　スリーハート運動

【スリーハート配付】

本校では、毎年、規範意識の高揚と人権モラル向上をめざした「スリーハート運動」に取り組んでいます。児童と保護者、そして地域の方々から標語作品を募集し、それぞれの優秀作品を１枚のポスターにまとめ、高学年の児童が近隣の公共施設や商業施設等へ出向き、掲示してもらいました。活動の趣旨に賛同し、新たに掲示を引き受けてくださる事業所もありました。

エ　マロニー小学校との交流

アメリカ・マロニー小学校との交流活動を始めて６年。互いの国の文化を紹介し合えるようなメッセージカードやオーナメント等、工夫をこらした作

品を交換したり、テレビ電話で直接会話したりして交流を図っています。今年度は、メッセージカード等の交換活動を継続して行っています。

（２）挑戦する土台づくり

ア　人権学習会

【人権学習会】

今年度は、動物写真家の小原　玲氏を講師にお招きし、「人権学習会」を開催しました。「流氷の伝言」というテーマで、環境問題で多様な生物が急速に減少する現状を、体験談や映像を通して教えていただきました。「地球温暖化を防ぐことは難しいが、まず自然や動物等、“相手”を好きになること」、「安易に答えを決めるのではなく、自分にできることは何かを考え続けることが大切」ということを学ぶことができました。

イ　外部講師の招聘

【狂言出前授業】

外部から講師を招き、専門性を生かした学習活動を進めるとともに、私たち教師の力量向上にもつなげています。

＜主な活動＞

＊井上松次郎氏（狂言出前授業：６年）

＊甚目寺民踊クラブ（甚目寺小唄指導：全校）他

ウ　現職教育の充実

道徳では柴田八重子先生、合唱指導では堀田みどり先生、そしてＱＵ検査の分析では杉村秀充先生を講師として研修を深め、教師の力量向上を図りました。

３　評価

出会いとふれあいを大切にした活動を計画的に行ったことで、よりよい生き方や温かい人間関係を求める気持ちが高まり、自他を大切にする児童が着実に育ってきています。児童や保護者の学校評価アンケート結果からも、学校が安心して自分を成長させることができる場ととらえているといえます。

４　課題

児童は様々な活動を通して、人とかかわることや出会いのよさなど、体験的に多くのことに気付いたり学んだりすることができました。今後も、身につけた力を、学校・家庭・地域で発揮できるように、学ぶ場を設定し、継続的に取り組ませていきたいと考えています。